

氏名	松崎恵子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学、公衆衛生学				
学位	修士（公衆衛生学）				
学歴	2000年飯能看護専門学校准看護科、2002年飯能看護専門学校高等看護科、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、2023年帝京大学大学院（修士課程）公衆衛生学研究科				
経歴	2000年西武産婦人科小児科病院、2005年榊原記念病院、2006愛和病院、2021年飯能看護専門学校専任教員、2024年東京都搬送コーディネーター				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	遺伝と看護		6	1グループ6名の調査から発表までを支援。文献検索の質向上や、対象者の立場を「自分事」としてとらえる視点を共有し、個別性に基づいた不快事例理解と論理的思考を促した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	分娩期のケア		4	NCPR（新生児蘇生法）・分娩第一期のケアおよび分娩介助の演習を担当。単なる手順の習得に留まらず、学生が「自律的な判断と実践」を行えるよう、主担当教員と連携しながら実施した。		
2	周産期のケア		11	沐浴演習では実施前の「沐浴可否アセスメント」を導入し、問いを通じた思考の言語化を促進。模擬集団健康教育（5名担当）では、学生同士のディスカッションを促すことで、学生が主体的にプログラムを構成・運営できるよう動機づけを行った。		
3	母性看護Ⅱ		4	新生児ケアを担当。生理的特徴の理解に基づく、安全な技術習得を目指し、小グループでの相互リフレクションと評価用紙の活用により、個々の学習課題を明確化させた。		
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	母性看護学実習		2025.5～2025.6	3年次生を対象に、産科病棟を使用して4日間の臨地実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。		
2	総合実習（母性看護領域）		2025.7～2025.7	4年次生を対象に産科病棟を使用して3週間の臨地実習指導を行った。より高度なアセスメントと継続的ケアの視点を重視した指導を行い、期待した学習効果を上げた。		
3	助産学実習Ⅱ		2025.8～2025.9	4年次生（助産学専攻）を対象に、分娩病棟を使用して6週間の臨地実習指導を行った。母児の安全と産婦の主体性を尊重したケアの実践と分娩介助を実践し、期待した学習効果を上げることができた。		

4	IPW実習		2025.9～2025.10	他大学・他学科学生との合同実習。チーム医療における多職種連携による多角的な理解を深めるように支援し、期待した学習効果を上げることができた。	
5	NICU実習		2025.10～2025.11	4年次生（助産学専攻）ハイリスク新生児の生理的特徴やディベロップメンタルケアの実際を見学した。カンファレンスでは、学生が自ら振り返りができるように支援した。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.4～2025.12	主指導 0名	副指導 1名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
	なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	松伏高校 性感染症/私たちの性		埼玉県立大学	講演、性感染症と性について	2025.5
2	坂戸ろう学校 性感染症/私たちの性		埼玉県立大学	講演、性感染症と性について	2025.12
3	鴻巣高校 性感染症/私たちの性		埼玉県立大学	講演、性感染症と性について	2025.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	該当なし				
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称		内容	年月	
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容	期間	
1	地域貢献活動	川越市	Kawagoecity kenkomatsuri (彩の国思春期研究会)性教育	2025.10～11	
1	地域貢献活動	埼玉県	リアル体験教室（小学5年生向を対象にした看護師体験教室）	2025.10	
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	学科会議業務・学科当番			2025.11
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名		主催	受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名		特許番号	登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					
1	該当なし				